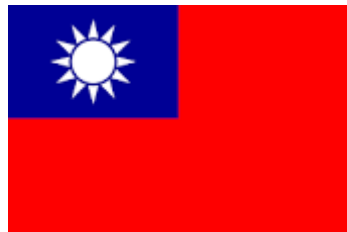


台中關係を考える

～台湾総統選結果と今後の台中関係～



アジア研究会 3月定例会資料

2016年3月16日(水)

台湾 基本情報

- 人口： 2,348万人(2015年10月)
- 人口密度： 651人
(日本336人、中国143人、韓国506人)
- 民族構成
 - 本省人：ホーロ一人 約74%
(明清代に移住、主に福建人)
 - 客家人 約12%
(清朝に移住、主に広東人)
 - 外省人： 12% [戦前から台湾居住]
 - 原住民： 2% [戦後中国から移住]

台湾全図



■ 定期便発着地からの飛行時間(目安)

- ・札幌より:約4時間
- ・仙台より:約3時間35分
- ・東京より:約3時間30分
- ・名古屋より:約2時間50分
- ・小松より:約3時間
- ・大阪より:約2時間45分
- ・広島より:約2時間30分
- ・福岡より:約2時間15分
- ・宮崎より:約2時間30分
- ・那覇より:約1時間30分



台湾総統選



(参考:韓国 朴槿恵大統領 64歳)

蔡英文氏 (民進党主席)
台北市生まれ、59歳

プライベート
独身。台北などでひとり暮らし。
趣味は猫(自宅に2匹)と読書

好物
毎朝のコーヒー、
チョコレート

学歴
台湾大法卒、
英ロンドン・スクール・
オブ・エコノミクス博士

職歴
政治大学教授、大陸
委員会主任委員(閣僚)、
行政院副院長(副首相)

(出典:日本経済新聞 2016/1/17)

中台対話を巡る歴史

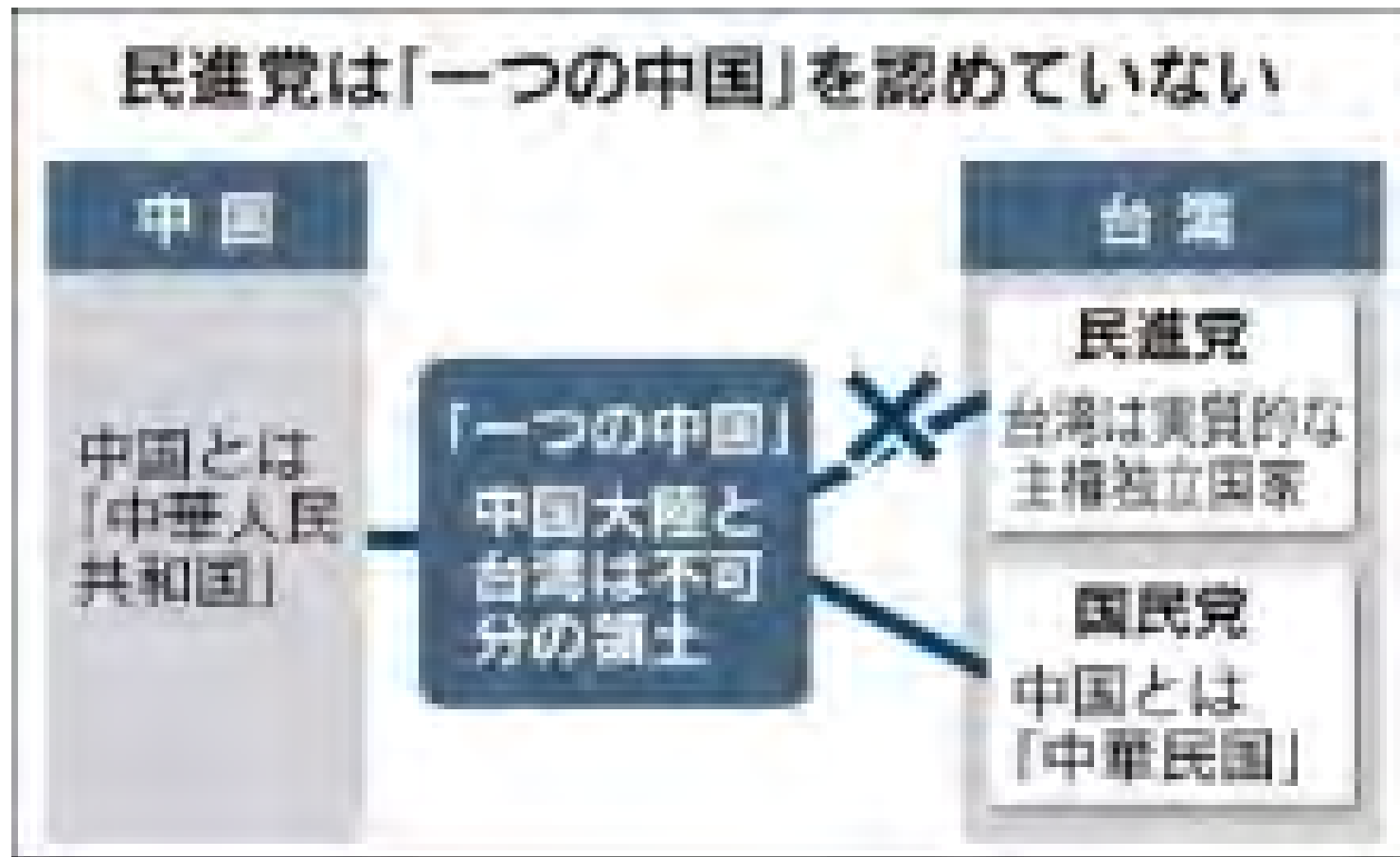
中台対話を巡る歴史(肩書きは当時)

1949年	中国共産党との内戦に敗れた中国国民党政権が台湾に渡り、中台が分断状態に
92年	中台の交流窓口機関が協議。「一つの中国」の原則を口頭で確認したとされる
93年	中台の交流窓口機関トップがシンガポールで初の会談
96年	初の総統直接選挙で国民党の李登輝政権が発足
2000年	台湾で初の政権交代。台湾独立を志向する民進党の陳水扁政権が誕生
08年	国民党の馬英九政権が誕生し、中台の窓口機関のトップ会談が10年ぶりに再開
12年	台湾の馬総統が再選
14年	中台当局が直接対話を開始
15年 11月	中国の習近平国家主席と台湾の馬英九総統がシンガポールで初の首脳会談
16年 1月	民進党の蔡英文氏が総統選で勝利
5月	蔡英文氏が総統に就任



(出典:日本経済新聞 2016/1/17)

中国と台湾



台中関係の「三通」

- ・通商： 貿易取引・資本の自由化
- ・通航： 交通の自由化
- ・通郵： 通信・情報の自由化

～2007年 原則禁止（香港経由は可）
（民進党 陳水扁総統）

2008年～ 基本合意・開放
（国民党 馬英九総統）

中国本土の有力台湾企業

- 鴻海精密 (スマホ、タブレットなど)
- 広達電脳 (パソコン)
- 明基電脳 (パソコン)
- 頂新集団 / 康師傅 (食品 / 即席めん、飲料)
- 統一集団 (食品 / 飲料ほか)
- 味元 (食品 / 調味料)
- 大成集団 (食品 / 鶏肉、飼料)
- 遠東集団 (百貨店)
- 郷林集団 (不動産)
- 遠雄集団 (不動産)

台湾企業の中国ビジネス

《三本主義》

- 本人主義：経営者本人が意思決定
(日本企業：本社に上申、会議、稟議⇒
決定が遅れてタイミングを逃す)
- 本土主義：現場主義、経営者が陣頭指揮
(日本企業：現場担当者に任す⇒
現場の実情が把握できない)
- 本領主義：自社の強みを徹底的に発揮する
(日本企業：総花的な展開を志向⇒的が絞れない)